

全4幕
イタリア語上演
日本語・英語
字幕付き
新制作

プッチーニ/歌劇『ラ・ボエーム』



井上道義が盟友と共に魅せる“最愛”にして“最後”のオペラ

芸術の都パリを舞台にしたボヘミアンたちの愛と青春のオペラ『ラ・ボエーム』。全国7都市で名コンビがおくるイマジネーション豊かな新制作の舞台がここに開幕。



©Tomoko Hidaki

2024年秋、全7館による全国共同制作オペラ『ラ・ボエーム』が東京芸術劇場で幕を開ける。

今年没後100年を迎えたイタリアの大家プッチーニの『ラ・ボエーム』は、パリの屋根裏部屋に住む若き芸術家たちの哀歓を描いた青春群像劇。名旋律が全編を彩る抒情的かつ劇的な傑作で、「冷たい手」「私の名はミミ」「私が街を歩けば」など有名アリアも数多い。作品自体は、“オペラのABC”(A=アイダ、B=ボエーム、C=カルメン)に挙げられるほど親しみやすく、ピギナーもリピーターも必ずや感動に誘われる。

しかも今回は、見逃せないポイントが2つある。1つ目は、2024年末での引退を宣言している名指揮者・井上道義が取り組む“最後のオペラ”であること。井上は、全国共同制作オペラの『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』をはじめ当分野での実績も十分だ。その彼が最後に選んだのが「最愛のオペラ」と語る本作。引退発表後の井上は、様々な楽団と一期一会的な凄演を続けているので、生気と躍動感に富んだ生来の表現に、円熟味と「最後&最愛」の思いが重なる本公演は、渾身の名演必至。ぜひとも耳に焼き付けておきたい。

もう一つは、舞踊家・演出家の森山開次が演出を受け持つこと。井上が深い信頼を寄せる彼は、オペラ初演出となった当シリーズの『ドン・ジョヴァンニ』(2019年、指揮：井上)に続いて、演出・振付・美術・衣裳デザインを担当。今回の演出にあたって「私の芸術の灯火を捧げて取り組む」と意気込みを語っており、現代のダンスシーンを牽引しながら、東京2020パラリンピック開会式など様々なプロジェクトに携わっている才人ならではの、創造性とイマジネーションに溢れた舞台が期待される。

歌手陣も、二人がオーディションで選んだ内外の実力派がそろそろ。主役の詩人ロドルフォは、井上作のミュージカルオペラ『A Way from Surrender ~降福からの道~』で井上の分身たるタロー役を務めた工藤和真。新世代テノールの筆頭格の歌声は必聴だ。ヒロインのミミは、欧州の著名歌劇場で活躍し、今年1月英国ロイヤル・オペラにミミ役でデビューして絶賛されたソプラノ、ルザン・マンタシャン。その演唱も注目度が高い。また、豊かな声と表現力を持つ池内響のマルチェッロ、艶やかで輝かしいイローナ・レヴォルスカヤのムゼッタ以下、充実の顔ぶれが並ぶ。なお今回森山は「マルチェッロ役に画家・藤田嗣治の視点を重ねる」との由。この点も極めて興味深い。加えて読売日本交響楽団の出演も特筆もの。日本屈指のゴージャスで重層的なサウンドは、管弦楽も重要なプッチーニ・オペラにおいて実に心強い。

井上&森山による『ドン・ジョヴァンニ』は、踊りを取り入れた清新な舞台だったが、感心したのは、音楽が損なわれず、むしろ引き立っていた点。この特別な『ラ・ボエーム』も、“新しく、美しく、深い”上演となるに違いない。

井上&森山による『ドン・ジョヴァンニ』は、踊りを取り入れた清新な舞台だったが、感心したのは、音楽が損なわれず、むしろ引き立っていた点。

この特別な『ラ・ボエーム』も、“新しく、美しく、深い”上演となるに違いない。

文 = 柴田克彦 (音楽評論家)



©Tomoko Hidaki

(『芸劇BUZZ vol.48 / 2024.7.8.9』より転載)

公演情報 9月21日(土)、23日(月) 14:00開演 - 東京芸術劇場コンサートホール



指揮：井上道義



演出・振付・美術・衣裳：
森山開次



ミミ：ルザン・マンタシャン
ロドルフォ：工藤和真
ムゼッタ：イローナ・レヴォルスカヤ※
マルチェッロ：池内響

コッリーネ：スタニスラフ・ヴォロビョフ ショナル：高橋洋介 ペノア：晴 雅彦
アルチンドロ：仲田尋一 パルビニョール：谷口耕平

ダンサー：梶田留以、水島晃太郎、南帆乃佳、小川莉白
合唱：ザ・オペラ・クワイア、世田谷ジュニア合唱団
管弦楽：読売日本交響楽団 バンダ：バンダ・ベル・ラ・ボエーム

※当初発表の出演者より変更になりました。

○チケット料金 (全席指定/税込) SS ¥18,000 S ¥16,000 A ¥14,000 B ¥11,000 C ¥8,000 D ¥5,000 (売切) ※高校生以下1,000円は売切 ※8/20時点の販売状況です

○東京芸術劇場ボックスオフィス

◆0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

※国際電話および一部のIP・プリペイド式携帯電話などからはご利用いただけません。

◆<https://www.geigeki.jp/t/>

※24時間受付(メンテナンスの時間を除く)